

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393100074
事業所名	グループホームじけい

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域の方との交流については、感染症問題が続いている中でも積極的な取り組みが行われており、地域の役員の方の理解と協力を得ながら、様々な機会を通じて交流の機会がつけられている。ホームでサロンやお茶会等の機会をつくり、地域の方の参加も得られている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議については、基本的に対面方式での会議を実施しており、今年度は対面方式での会議が実現している。会議の際には、ホームの運営状況等を詳しく記載した資料を用意しており、会議の関係者の理解を深めてもらう機会につなげている。また、会議に市職員の参加も得られており、ホームの取り組みを知ってもらう機会につなげている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市内の介護事業所が集まる連絡会等にホームからも参加する機会をつくっており、ホームの運営への反映につなげている。市の行事等にホームからも利用者と参加する取り組みを継続しており、市の福祉施策への協力が行われている。また、地域包括支援センターや介護相談員を通じた情報交換も行われている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	ホームでは、感染症問題が長期化している中であっても、毎月の大掃除を通じた家族との交流会を継続しており、年間を通じて、家族との交流の機会をつくっている。運営推進会議の案内文書には、「意見・要望欄」を設ける取り組みを継続しており、要望等の把握につなげている。また、毎月のホーム便りの作成が行われている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

備考欄

--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	×	○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎	○							